

滋賀工場

1 工場概要

- ▶ 住所 〒520-211 滋賀県湖南市高松町2番1
- ▶ 従業員数 106名 (外部工・パート:39名含む)(H25.4.1現在)
- ▶ 敷地面積 本工場 : 128,305m² 飛地 : 51,577m²



2 事業概要

- ▶ 事業内容 1. 小型合併浄化槽、浴槽の開発・製造
2. 中・大型浄化槽の開発

▶ 主要製品

【小型合併浄化槽：KJ型】



【FRP浴槽】



3 工場変遷

- | | |
|--------------|--|
| 昭和45年 (1970) | 工場完成 操業開始 |
| 昭和45年 (1970) | SMC法によるFRP浴槽の生産を開始 |
| 昭和46年 (1971) | SMC法によるプレス浄化槽の生産を開始 |
| 昭和48年 (1973) | カラーベスト工場を新設し生産を開始 |
| 昭和62年 (1987) | カラーベスト工場、新ラインを増設 |
| 平成 8年 (1996) | SMC法によるプレス小型合併処理浄化槽の生産開始 |
| 平成12年 (2000) | 「ISO14001」の認証を取得 |
| 平成14年 (2002) | 浄化槽製造における「ISO9001」の認証を取得 |
| 平成15年 (2003) | カラーベスト部門が松下電工と合併し、分社独立
(新会社名 クボタ松下電工外装株式会社) |

4 環境方針

▶ ISO環境方針

環境方針

滋賀工場は、下流に近畿の水瓶・琵琶湖を控えた湖南工業団地に立地し、快適な住生活環境づくりを目指して、浄化槽、浴槽、その他住宅関連製品を設計・生産している。

当工場は、企業の社会的責任として環境調和型創造企業を目指し、行動指針を以下のとおり定め、地域・湖国及び地球の環境保全に貢献する。

1. 製品の研究・開発や製造過程、ならびに物流・品質クレーム対応等、“活動”、“製品”、“サービス”を対象として次の課題に取り組む
 - ①省エネルギーの推進
 - ②廃棄物の減量化ならびに資源の再利用推進
 - ③水質・大気の排出管理強化
 - ④環境影響の最小化を目指した製品開発 等
2. 継続的な環境改善と汚染の予防に努める。
3. 環境関連法、条例、その他の要求事項を遵守する。
4. ISO14001規格に基づいた環境マネジメントシステムの構築により、環境目的・目標を設定し、実行すると共に、定期的レビューを行う。
5. 本方針は、文書等で「工場働く人」全員に周知し、意識の高揚と確実な実行を図る。


For Earth, For Life

平成24年4月1日
株式会社クボタ 滋賀工場長
北中直樹

▶ ISO認証取得状況

平成12年 5月 「ISO14001」認証取得

平成14年 5月 浄化槽・浴槽製造における「ISO9001」認証取得

5 環境保全中期計画 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2012年度			
				目標	実績	自己評価	目標未達の理由
地球温暖化防止	CO ₂ の削減	CO ₂ 排出原単位	2008	▲10%	▲5.9%	×	生産金額減少のため
		CO ₂ 排出量	2008	▲10%	▲16.2%	◎	
	物流のCO ₂ 削減	CO ₂ 排出原単位	2008	▲4%	7.1%	×	積送効率低下、九州への積送増加
循環型社会の形成	廃棄物の削減	排出原単位	2008	▲8%	▲60.5%	◎	
	ゼロ・エミッション	埋立比率	—	0.5%以下	2.45%	×	委託先の変更により埋立増加のため
	水資源の節約	水使用量原単位	2008	▲4%	▲33.6%	◎	
有害化学物質の削減	PRTR法対象物質の削減	排出移動原単位	2008	▲8%	▲8.0%	○	

※自己評価の基準 ◎・・・目標超過達成 ○・・・目標達成 ×・・・目標未達成

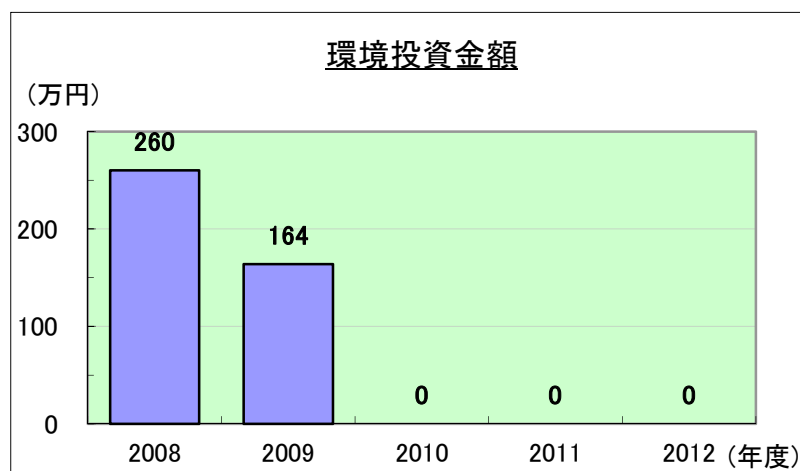
注) 環境保全中期計画のCO₂排出量実績値の算定の際は、2008年度の単位発熱量及びCO₂排出係数を使用しています。

滋賀工場

6 環境会計

① 環境投資

2012年度:0万円



② 環境保全効果

効果の内容		2011年度	2012年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	51,144	49,177	△ 1,967	96.2%
	水使用量(m ³)	97,542	91,701	△ 5,841	94.0%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)	2,075	2,346	271	113.1%
	SO _x 排出量(t)	—	—	—	—
	NO _x 排出量(t)	0.0280	0.023	△ 0.005	82.1%
	ばいじん排出量(t)	—	—	—	—
	PRTR対象物質排出・移動量(t)	21.2	21.8	0.6	103.0%
	廃棄物排出量(t)	334	181	△ 152.4	54.3%
廃棄物埋立量(t)	7.9	9.2	1.38	118%	

③ 経済効果

2012年度:559万円

エア洩れ・蒸気洩れ補修で36万円/年のロス低減と推測

分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	蒸気洩れ補修など	8万円
ゼロ・エミッション化対策	廃棄物の有価物化など	96万円
物流環境保全対策	外注先企業や倉庫の見直しなど	455万円
合計		559万円

滋賀工場

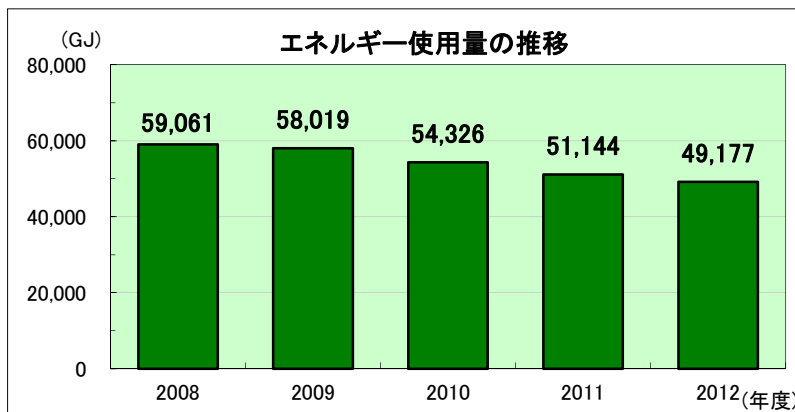
7 環境パフォーマンス

① 地球温暖化の防止

省エネルギー活動

メインライン空調を省エネタイプに更新しました。

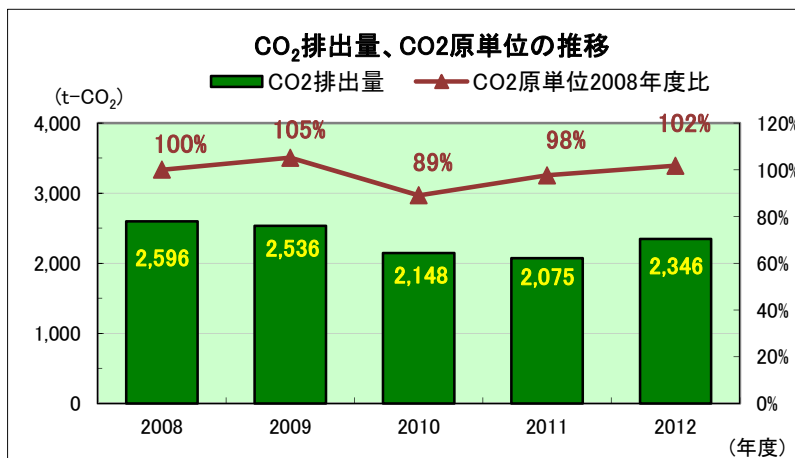
蒸気・エア洩れのパトロールを行い、ロス低減に取り組んでいます。



CO₂排出量の削減

上記のような省エネ活動の推進、及びロス低減により、CO₂排出量を削減しましたが生産量減少分以上の原単位改善が行えず、昨年比で悪化しています。

※CO₂原単位2008年度比：
2008年度の生産金額ベースのCO₂原単位を100とした場合の割合



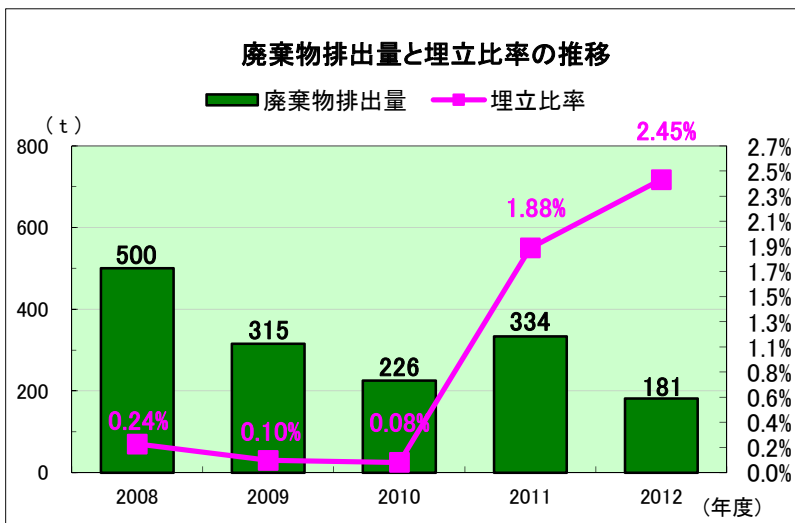
② 循環型社会の形成

廃棄物排出量の削減

2012年度はプラスチック分別の見直しにより総排出量が減少したものの、最終処分先の変更により埋め立て量が増加しています。

ゼロ・エミッション

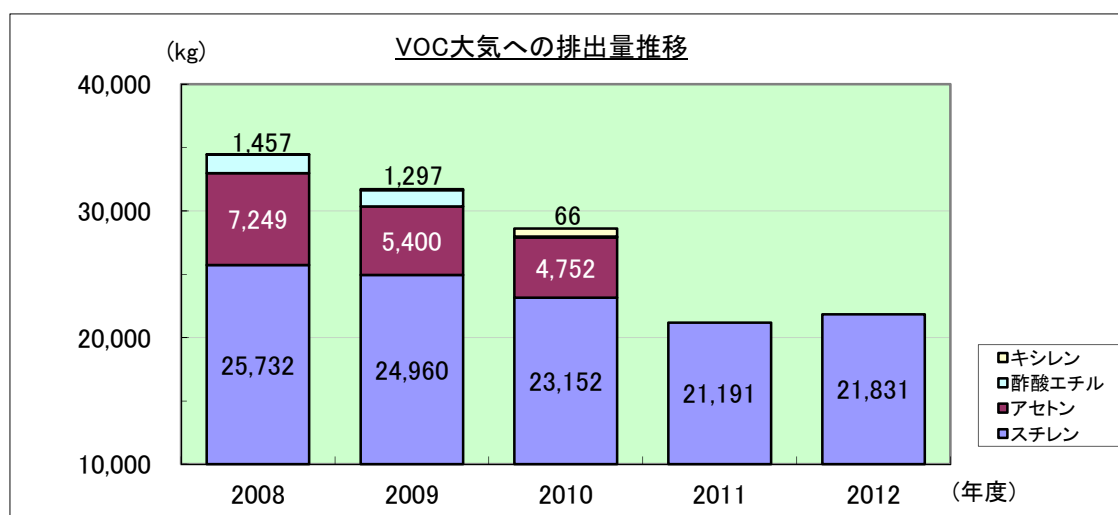
上記により、埋立比率が増加し、ゼロ・エミッションは達成できませんでした。



注：埋立比率(%) = (直接埋立量 + 中間処理後最終埋立量) ÷ (有価物量 + 廃棄物排出量)

滋賀工場

③ 有害化学物質の削減 VOC大気排出量の削減



PRTR法対象物質の排出量・移動量

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
240	スチレン	21,831	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
354	フタル酸ジ-n-ブチル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
449	キシレン ※	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※PRTR届出対象外の物質も記載しています

8 環境コミュニケーション

☆ 地域美化活動

- ① 名 称 :クボタeデー
実 施 日 :平成24年9月22日(土) 8:30~10:00
参 加 人 数 :クボタ 30名



滋賀工場

9 サイトデータ

▶ INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	1,269
----------	---------	-------

水使用量	万m ³	9.2
------	-----------------	-----

▶ OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,346
---------------------	-------------------	-------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		ボイラー		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
SO _x	総量規制・K値規制とも にm ³ N/h		硫黄分ゼロの都市ガス使用		
NO _x	総量規制:m ³ N/h, 濃度規制:ppm		濃度規制	180	35
ばいじん	g/m ³ N		—	—	—

排水量	万m ³	下水道	0.87
汚濁負荷量	COD	kg/年	290
	窒素	kg/年	-
	りん	kg/年	-

排水	放流先	項目	単位	末端放流口	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	—	6.0~8.5	7.6, 8.0
		BOD	mg/l	20	6.6
		COD	mg/l	20	7.6
		窒素	mg/l	8	0.70
		りん	mg/l	0.8	不検出(<0.1)
		六価クロム	mg/l	0.05	不検出(<0.02)
		鉛	mg/l	0.1	不検出(<0.01)
		COD総量規制値	kg/日	—	—
		窒素総量規制値	kg/日	—	—
		りん総量規制値	kg/日	—	—
下水道		pH	—	—	—
		BOD	mg/l	—	—
		COD	mg/l	—	—
		SS	mg/l	—	—

廃棄物排出量	t	181
埋立比率	%	2.45